

おかやまの美しい海、海ごみクリーンアップ事業

1 事業の概要

瀬戸内海の家ごみは、河川等を通じて流れ込む生活系のごみが大半を占め、海洋環境に影響を及ぼしていることから、県民一人ひとりがごみをポイ捨てしない意識を持ち、発生抑制を図るとともに、回収等の実践行動を行うことが重要です。そのため、県下全域の市町村や、経済団体等と連携して海ごみ対策に取り組んでいます。

2 令和6年度実績

① 岡山県海ごみ対策推進協議会（旧：海ごみ対策連絡調整会議）

県、市町村、経済団体等で構成した推進協議会において、海岸漂着物等（漂着ごみ、漂流ごみ、海底ごみ）の家ごみ対策をより総合的かつ効果的に進めるため、各構成員の取組について情報共有するとともに、ワーキング会議において課題検討等を行いました。

（本会議）

令和6年8月21日（木）@ゆうあいセンター大会議室

（ワーキング会議）

第1回：令和6年7月18日（木）@岡山県庁分庁舎

第2回：令和7年3月18日（火）@Zoom



本会議



ワーキング会議

② 海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」

河川や用水路等を通じて、瀬戸内海へ流入する生活ごみ等を削減することを目的に、岡山県海ごみ対策推進協議会の構成員等が清掃活動や普及啓発イベント等を行う、全県統一キャンペーンを実施しました。（対象事業：63事業、ごみ回収量：18.3t）



普及啓発イベント



清掃活動

③ 海ごみ・プラごみ削減フォーラム

海ごみ、プラスチックごみ問題に対する県民の理解を深め、県内での発生抑制や回収処理など海ごみ対策の活性化を図ることを目的として、県内外で活動する団体や企業、学校などがそれぞれの取組を紹介するブース展示（30ブース程度）のほか、海ごみ問題に関する基調講演等を行うフォーラムを開催しました。

開催日：令和7年2月16日（日）

場所：コンベックス岡山 2階 国際会議場・バンケットホール

参加者数：約 200 人



基調講演



ブース展示

④ 河川ごみ等回収・発生抑制モデル地区推進事業

身近な用水路や河川等でのごみ回収活動が「自発的」かつ「継続的」に行われるよう、地域（町内会や学校等）と連携してごみ回収活動を行おうとする公民館に対して、専門家による伴走支援を行い、公民館を主体とした実施体制の構築を行いました。

⑤ 河川ごみ等回収促進事業

個人や団体、企業等による河川等における清掃ボランティア活動が一層活発化するよう、市町村と連携した回収後のごみの運搬、処分や事前の草刈りを実施しました。

※ 一定規模以上（450 ゴミ袋で概ね 50 袋（R7.1 以降は 30 袋）以上回収見込み）の清掃活動に限る。

（ⅰ）河川ごみ等の運搬、処分費用の負担

市町村等が河川等管理者や清掃ボランティアからの依頼に基づいて行う回収後の河川ごみ等の運搬、処分に要する経費について、県管理エリアの内外にかかわらず、県が負担。（令和6年度：18件）

（ⅱ）事前準備としての草刈り（県管理地）

（ⅰ）の対象規模以上の清掃活動が行われる場合、進入道路等部分的な草刈りを行う必要がある際には、県が草刈りを実施。（令和6年度：3件）

⑥ 漂着ごみ回収・調査事業

海ごみの削減施策を立案し展開をするためには、漂着ごみの実態把握が必要であるとともに、削減の施策の効果検証について、継続的に調査をすることが必要であることから、県内 27 か所において漂着ごみの目視調査を実施し、うち 3 か所については回収及び組成調査も実施しました。

⑦ 海底ごみ回収モデル事業

底曳網漁業者が、操業時に引き上げた海底ごみを分別して陸まで持ち帰った場合に協力を支給することで、海底ごみの持ち帰りや分別の習慣化への効果を検証しました。
(海底ごみの回収量：約 7.5 t)

3 担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班